



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

知の深遠へ

九州大学大学院人文科学府
学生募集案内

2027

汝、天下の孤本たれ!

大学院という選択

私たちはこの世に生まれ落ちたとき、何物でもないと同時に、何物にもなれる無限の可能性を有しています。鵬程万里、その先には果てしない広大な未来が広がっています。

少しずつ年を重ねるごとに、少しずつできることが増えていきます。それは同時に、できないことを認識することでもあります。自分には何ができるのか。自身の中でそのことを確かめ続けながら、年を重ねていきます。

自分にできること、自分が好きなこと、自分に向いていることを見つけるために、私たちはその節目節目において、選択を行います。高校や大学、あるいはその他の場所。ひとつを選択するということはそれ以外を捨象することですから、もはやその先にある未来は無限ではなくなります。

しかし、こうした選択によって未来を限定していくこと、これこそが、生きていくことに他なりません。そして今、大学院進学という選択肢が目の前にあります。九州大学は大学院大学を謳い、学部を卒業した先にある大学院を修了するところに、教育課程のゴールを設定しています。大学院は、より専門的で高度な知識・教養を身につけながら研究を行う場所です。

大学院という選択により、未来に輪郭をつけていきませんか。自分がこの世で唯一無二であることを確かめるために。



人文科学府長
青木 博史

伝統を継承し、時代の要求に応える

今日の九州大学の前身は、1911(明治44)年開学の九州帝国大学ですが、文学部は1924(大正13)年に開設された法文学部の一学科として発足しました。困難な戦争の時代を経て、1949(昭和24)年には新制九州大学の文学部として独立、1953(昭和28)年大学院文学研究科が併設され、さらに2000(平成12)年に大学院人文科学府として再編成されました。2024(令和6)年には、法文学部100周年、文学部独立75周年の節目の年を迎えました。

帝国大学時代からの伝統を継承しながら新たな時代の要求に応え、西日本の人文科学研究の拠点として豊かな研究成果を挙げるとともに、多彩な人材を送り出しています。



(旧キャンパス)正門より旧法文学部校舎を望む

求む、学生。

人文基礎専攻

人間文化の根本原理を究める

1. 教育理念

本専攻は、人間文化の根本原理を究めることを目標としていますが、それと同時に、人間文化の多様な展開に関する専門的な研究を通じて、現代社会の提起する諸問題を根源的に考察できる人材を養成することも目標としています。

2. 教育プログラム

本専攻には、哲学、倫理学、インド哲学史、中国哲学史、芸術学の5専修と、英語のみの授業を行う広人文学コースがあります。学生はいずれかに所属して、指導教員と副指導教員のもとで研究指導を受けます。

3. 求める学生像

本専攻は、真・善・美という人類の最も基本的な価値についての研究を特色とすることから、学生は、ものごとを根本から思索する能力が求められます。そのためにも、過去に蓄積された重要な知的遺産、とりわけ古典とされる文献資料、芸術作品を厳密かつ正確に理解する能力も必要とされます。

歴史空間論専攻

時空を越えて、社会の多様性を知る

1. 教育理念

本専攻は、歴史的条件や地理的条件によってさまざまに異なる社会（経済・政治・文化の総体）に関する専門的な研究を通じて、国際的な交流や相互理解に必要な不可欠な知識を提示できる人材を養成することを目標としています。

2. 教育プログラム

本専攻は、日本史学、東洋史学、朝鮮史学、考古学、西洋史学、イスラム文明史学、地理学の7専修から構成され、また修士課程における分野横断的な教育カリキュラムとして歴史学拠点コースを置いています。学生はどれかの専修を選択して、指導教員と副指導教員のもとで研究指導を受けます。

3. 求める学生像

本専攻では、現代社会の成り立ちを、時間的あるいは空間的な社会の多様性への関心を通じて見通すことを目標とします。具体的には、自ら史資料を収集・解析することで、特定の地域や時代における社会の特質を、実証的に、また理論的に解明する能力が求められます。その過程においては、人間精神の多様性を認識するセンスと、論理的思考力および独創性を養っていくことが期待されます。

言語・文学専攻

言語文化の多様なあり方を究める

1. 教育理念

本専攻は、言語および言語文化について、その多様なあり方を究めることを目標とします。そしてまた、それらの研究を通して、現代社会の提起する諸問題に対しても根源的に考察しうる人材を養成することを目標としています。

2. 教育プログラム

本専攻は、国語学・国文学、中国文学、英語学・英文学、独文学、仏文学、言語学の6専修から構成されています。学生はどれかの専修を選択して、指導教員と副指導教員のもとで研究指導を受けます。

3. 求める学生像

本専攻は、言語という人類の最も基本的な知についての研究を特色とすることから、学生は、ものごとを根本から思索する能力が求められます。そのためにも、現代の言語現象のみならず、過去に蓄積された重要な文献、とりわけ古典と呼ばれる文献を厳密かつ正確に読解する能力も必要とされます。

幅広い学問領域と多彩な教授陣。 3専攻・10分野・18専修・1コース

専攻	分野	専修	教授・准教授・講師
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	倉田 剛 教授 哲学基礎論
			大西 克智 教授 西洋哲学史
			葛谷 潤 准教授 現代哲学
		倫理学	吉原 雅子 准教授 現代西洋倫理学
			飯嶋 裕治 准教授 倫理学理論・日本思想史
	東洋思想	インド史	片岡 啓 教授 インド思想史
		中国史	南澤 良彦 教授 中国古代中世思想史
			藤井 倫明 准教授 中国近世近代思想史
	芸術学	芸術学	東口 豊 准教授 美学、音楽学
			伊藤 拓真 准教授 西洋美術史、美術批評史
			石井 祐子 准教授 西洋美術史
歴史空間論	日本史学	日本史学	アト・シュヴァー 教授 日本美術史・建築史
			エレン・ヴァン・アール 教授 日本古代史
			ケイレブ・カーター 准教授 日本宗教史、仏教学
			ヤン・ユー 講師 日本近代建築史・都市史・美術史
		広人文学コース	ダーヴィッド・ヴァイス 講師 日本文学、日本思想史
		東洋史学	岩崎 義則 准教授 日本近世史
			荒木 和憲 准教授 日本中世史
			国分 航士 講師 日本近現代史
			内田 敦士 講師 日本古代史
	アジア史学	朝鮮史学	中島 楽章 准教授 中国近世史、東アジア海域史
			森平 雅彦 教授 朝鮮中近世史、東アジア交渉史
		考古学	小野 容照 准教授 朝鮮近代史
			辻田淳一郎 教授 日本考古学
言語・文学	西洋文学	国語学・国文学	鈴木 舞 准教授 東アジア考古学
		中国文学	
		英語学・英文学	
		仏文学	

専攻	分野	専修	教授・准教授・講師		
歴史空間論	広域文明史学	西 洋 史 学	足立 孝 教 授	スペイン中世史	
			今井 宏昌 准教授	ドイツ現代史	
		イ ス ラ ム 文 明 史 学	清水 和裕 教 授	アラブ史、初期イスラム史	
			小笠原弘幸 教 授	イスラム社会史	
	地 理 学	地 理 学	遠城 明雄 教 授	人文地理学、都市研究	
			伊藤 千尋 准教授	人文地理学、アフリカ地域研究	
外戸保大介 准教授			人文地理学、経済地理学		
言語・文学	日本・東洋文学	国 語 学・国 文 学	青木 博史 教 授	日本語学、文法史	
			川平 敏文 教 授	日本近世文学	
			岡田 貴憲 准教授	中古文学	
			古川 大悟 講 師	古代日本語文法	
		中 国 文 学	静永 健 教 授	中国古典文学	
			孫 琳浄 講 師	中国古典小説、中国語学	
		西洋文学	英 語 学・英 文 学	鶴飼 信光 教 授	イギリス文学、特にイギリス小説
				高野 泰志 教 授	アメリカ文学
				中村 嘉雄 教 授	アメリカ文学
				前田 雅子 准教授	英語学、特に統語論
	トマス・バッチラー 准教授			英語学	
	大塚 知昇 准教授			英語学	
	独 文 学		小黒 康正 教 授	ドイツ近現代文学	
			田口 武史 准教授	ドイツ近代文学	
			ケイ・リチャードソン 准教授	ドイツ古典文学、近代文学	
			仏 文 学	高木 信宏 教 授	フランス近代文学
	宮崎 海子 准教授	フランス現代文学			
	言語学	言 語 学	上山あゆみ 教 授	生成文法、日本語統語論	
			下地 理則 教 授	琉球語、言語類型論	
			太田 真理 准教授	言語脳科学、神経言語学	

ともに語り、ともに学ぶ、未来を見据えて。

先輩からのメッセージ

インド哲学史/修士課程 福島 さくら



人間と真理の探究、そしてその営みとことばとは、切っても切れない関係にあるように思われます。いつの時代にも、真理を追い求め、ことばを遺した人々がいました。そして、それを継承し、発展させてきた人々がいます。そうした営みの積み重ねこそが、知の歴史です。いま、ことばに向き合うこともまた、その営みに加わることにほかなりません。人間の知と深く結びついたことばに、志を同じくする仲間とともに、思う存分向き合ってみませんか。

イスラム文明史学/博士修了 辻 大地



アラビア文字という波に揉まれながら、史料という海に潜る。そうした日々は、決して楽なものではありません。しかし苦勞して潜った末に、まだ誰も見たことのない海中の景色が目前に開けた時、そしてその景色の素晴らしさを伝えることができた時、これこそが研究の醍醐味だと感じます。もちろんそのためには、言語の読解技術や論を構成する力だけでなく、十分に考え、語り、批判を受けられる環境が必要です。そして、大学院にはその全てが揃っています。皆さんもぜひ大学院で、未知の世界を覗きに行きませんか。

中国文学/修士修了 木村 淳美



私が大学院に進学したのは、中国文学を通して過去の人間の心に近づき、その世界を表現できるようになりたいと思ったためです。これまで大学院で過ごした1年間では、研究室の授業はもちろん、他研究室の学生とも交流する機会を得て、様々な資料を読み解き、その意味を自分で考え、仲間と議論を交わすことで、多元的な視点から物事を考える力を磨いてきました。進学当初の目標にはまだまだ程遠いですが、日々の積み重ねとその過程で出会った人々との繋がりが将来の支えになると信じて、少しずつ前に進んでいます。

中国哲学史/博士後期課程 佐野 由枝



私は古代中国の古い書物である『周易』を研究しています。古い世界に興味を持つきっかけとなったのは、幼少期に「Dr. リンにきてみて!」というアニメの「リン風水羅盤 弐」で遊んだことでした。学部2年までは理学部数学科にいたので中国哲学はもちろん古い勉強をする機会はありませんでしたが、ご縁があって人文科学府中国哲学史研究室の大学院に進学し、今は憧れていた古い世界を本格的に研究できることに喜びを感じています。

日本史学/博士修了 伊東 かおり



幼い頃から『タンタンの冒険旅行』という、少年記者が白い愛犬と一緒に事件を追いかけて世界をめぐる漫画が大好きでした。愛犬の代わりにPCとカメラを抱えて史料集めに国内外を旅していると、自分がタンタンになったような気がして心が踊ります。そんな研究スタイルが身ついたのも、人文科学府の自由闊達な学風のおかげです。国内に留まりがちな日本史学専攻者がドイツの日本史学科へ留学できたのも、活発な国際交流を支援してくれる母校のおかげでした。

進学に迷いもあるかと思いますが、ぜひ人文科学府の門戸を叩き、新たな知を追い求める冒険者になってください。

言語学/博士修了 占部 由子



「あかさたなっとうしてこの順番なの?」
こういった、「当たり前」へのささやかな疑問について調べ、考え、いろんな人と話し合える機会が、大学院にはたくさんあります。「当たり前」はちゃんと説明されていないことが多く、その仕組みを探る作業はわくわくします。まさに「おもしろきこともなき世をおもしろく」するための挑戦の日々です。みなさんも、「当たり前」について考えてみる挑戦をしませんか?

奨学制度が学生生活を支えます。

日本学生支援機構による奨学制度

●日本学生支援機構奨学金貸与の種類及び貸与金額等（令和8年度）

種類	貸与月額	対象学年	貸与期間
第一種奨学金 （無利子貸与）	50,000円または 88,000円	修士課程	2年
	80,000円または 122,000円	博士後期課程	3年
第二種奨学金 （有利子貸与）	5万円・8万円・ 10万円・13万円・ 15万円から選択	修士課程	2年
		博士後期課程	3年

入学時 特別増額 貸与奨学金	有利子	金額 （一時金）	100,000円・200,000円・300,000円、 400,000円・500,000円 ①上記5種類の金額から選択できます。 ②所定の条件を満たす者。
----------------------	-----	-------------	--

●日本学生支援機構による奨学金の採用者数（人）

年度		令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
修士課程	第一種	2	8	20	18	21	20
	第二種	1	1	1	1	4	6
博士 後期課程	第一種	2	7	8	9	10	6
	第二種	0	0	0	1	1	2

●特に優れた業績による返還免除採択数（人）

修了年度		令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
修士課程 第一種	全額免除	0	0	0	1	0	0
	半額免除	2	4	3	2	3	3
博士 後期課程 第一種	全額免除	2	0	1	0	1	0
	半額免除	0	0	1	1	0	1

大学院研究力強化奨学金

九州大学では、令和元年度より、本学の博士後期課程に進学を希望、又は在籍する者で、優れた研究能力を有し、日本学術振興会の特別研究員DC1に申請した学生のうち、特に優秀な学生及びDC2に採用内定された学生に、年額25万円（給付、採用年度のみ）を支給しています。人文科学府からは、令和8年度に2名（DC1・DC2各1名）が採用されています。

日本学術振興会特別研究員（PD及びDC）

博士後期課程修了者及び博士後期課程在学者のうち、優れた若手研究者に自由な発想の元に主体的に研究に専念する機会を与えるため、選考の上「特別研究員」に採用し、生活費・研究費を支給する制度です。

●日本学術振興会特別研究員（PD・DC）採用者数（人）

	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
PD	0	0	1	3	1	0
DC	3	2	5	4	4	5

TA制度

ティーチング・アシスタント（TA）制度は、学士課程、修士課程及び博士後期課程の学生を対象とし、教育補助業務等により、教育の充実を図るとともに、指導者としての機会を提供しようとする制度です。

RA制度

リサーチ・アシスタント（RA）制度は、修士課程及び博士後期課程の学生を対象とし、人文科学研究院において行う研究プロジェクト等の補助業務等を担うことにより、研究体制の強化と若手研究者の育成等を図ろうとする制度です。

近年の主な就職先

九州大学
愛媛大学
立命館アジア太平洋大学
成蹊大学
九州共立大学
筑紫女学園大学
宮城学院女子大学
南京市師範大学
鹿児島女子短期大学
国立近代美術館
福岡アジア美術館
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
西安大唐西市博物館
鎌倉国宝館
蘇州博物館
福岡県教育委員会
長崎県教育委員会
広島県教育委員会
博多女子高等学校
福岡舞鶴高等学校
佐賀学園高等学校
上智福岡中学高等学校
八女学院高等学校
中村学園女子高等学校
福岡大学附属大濠高等学校
西南学院高等学校

厚生労働省
福岡国税局
日本年金機構
佐賀県庁
大分県庁
那珂川市役所
北九州市役所
九州電力
朝日新聞社
中日新聞社
JFE商事
島根銀行
凸版印刷
TDSE
いすゞ自動車
日本出版販売
日本電子計算
キャノンメディカルシステムズ
日本旅行
三井住友カード
三菱倉庫
日立ハイテク
ブシロード
NECソリューションイノベーター
麻生

令和9年度 修士課程／博士後期課程学生募集

- 令和9年度の願書受付期間及び試験期日は以下の通りです。
※試験日程等変更の可能性がありますので、最新情報は九州大学大学院人文科学府のwebサイトで確認して下さい。
- 修士課程・博士後期課程の第1期・第2期すべてに「一般選抜」「社会人特別選抜」及び「外国人特別選抜」があります。
- 6月20日(土)に大学院進学説明会を開催します。
全体説明会：午後1時より 各研究室説明会：午後2時より

募集期	願書受付期間	試験期日
第1期	2026年(令和8年) 7月1日(水)～7月31日(金)	2026年(令和8年) 8月27日(木)、28日(金)
第2期	2026年(令和8年) 2027年(令和9年) 12月1日(火)～1月4日(月)	2027年(令和9年) 2月3日(水)、4日(木)

課程	項目	筆記試験				口頭試問
		専修科目	外国語(1科目)	小論文	日本語	
修士課程	一般選抜	○	○			○
	社会人特別選抜 「一般社会人コース」 「高校教員特別コース」 「文化財学特別コース」 人社系副専攻プログラム入試	○		○		○
	外国人特別選抜	○	○ ※		○	○
博士後期課程 (編入学試験)	一般選抜	○	○			○
	社会人特別選抜 「社会人博士養成コース」					○
	外国人特別選抜	○	○ ※		○	○

※専修によって異なります。

詳細については以下のURL及び募集要項を参照してください。

九州大学人文科学府・人文科学研究院
HP:<https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/>

お問い合わせ
九州大学人文社会科学系事務部学務課人文科学府担当
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL:092-802-6365 FAX:092-802-6396
E-mail:jbkkyomu1lt@jimu.kyushu-u.ac.jp

※募集要項・願書書類は、九州大学人文科学府ホームページで入手してください。

知の深遠へ



交通アクセス

●地下鉄で福岡空港駅または博多駅または天神駅から…

地下鉄で福岡空港駅や博多駅や天神駅から「姪浜」駅へ行き、同じホームでJR筑肥線へ乗り換えて「九大学研都市」駅まで行く。あるいは地下鉄で「筑前前原行き」「筑前深江行き」「西唐津行き」「唐津行き」に乗り、「九大学研都市」駅まで行く。
そして「九大学研都市」駅前のバス停から、九大行きのバスの中で「文系(イーストゾーン)」行きのバスに乗り、「九大イーストゾーン」で下車し、イースト1号館へ歩く。

●西鉄バスで天神から…

天神ソリアステージ前から「九大総合グラウンド」行きのバスに乗り、「九大ビッグオレンジ」で下車する。
その後、東の方角に見える中央図書館のエスカレータを利用して、イーストゾーンに上がり、イースト1号館へ歩く。



国立大学法人

九州大学大学院人文科学府

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL:092-802-6365 FAX:092-802-6396

E-mail: jbkkyomu11t@jimu.kyushu-u.ac.jp ホームページ: <https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/>

知の深遠へ